MUKAWA 広報むかわ 6
JUNE 2015
No.111
発行・編集 むかわ町役場 総務企画課政策推進G
〒054-8660
北海道勇払郡むかわ町美幸2-88
TEL 0145-42-2411
FAX 0145-42-2711
http://www.town.mukawa.lg.jp/
seisaku@town.mukawa.lg.jp

恐竜が出たゾー!

恐竜のまちづくり最前線

パート 5

穂別稲里
恐竜特集

今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

クリーニング作業に進展!化石ジャケットを新たに開封

穂別博物館では4月23日に恐竜化石が含まれる石こうジャケット(化石が壊れないように石こうを染みこませた麻布を巻き付けて保護したもの)を新しく開封しました。今回開封されたジャケットは2014年の二次発掘で回収されたもので、上あごの骨が見つかったジャケットの近くにあったことから頭の骨が見つかることが期待されています。大きさ120×70×40センチ、重さ約300キログラムと大きなジャケットですが、クリーニング作業は基本的に1人の担当者が責任をもって進めます。このジャケットのクリーニングは終了まで1年程度かかる見通しです。

様々な道具を使って、母岩からジャケットを取り外していきます。

モササウルス標本調査に研究者が来館

4月25日より数日間、マイケル・コールドウェル教授(アルバータ大)と小西卓哉助教(ブランドン大)が穂別博物館を来館し、モササウルス類第10標本を調査しました。モササウルスは海に住むオオトカゲの仲間で恐竜ではありませんが、穂別の標本は産出状態や発掘後の処理・管理が良く世界的に注目されています。今回はコールドウェル教授の研究室の学生2名もそれぞれの研究のために博物館の標本を調査しました。

むかわ四季の館に恐竜PRコーナー登場

5月1日より、道の駅むかわ四季の館の鈴木章記念ギャラリー前にて、恐竜化石PRコーナーが公開されています。恐竜化石がどのように見つかったのか、なぜむかわ町から恐竜の化石が見つかったのかなど、わかりやすく解説しています。パネルのみの展示ですが、むかわ町穂別恐竜の尾椎骨(しっぽの骨)の原寸大パネルはスケール感たっぷりです!四季の館にお越しの際はぜひご覧ください。

担当:太田晶(地域おこし協力隊)

人の動き

平成27年4月30日現在

※( )は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

▶人口	8,903人(7)
▶男性	4,372人(17)
▶女性	4,531人(-10)
▶鵡川地区	6,034人(-6)
▶穂別地区	2,869人(13)
▶世帯	4,446世帯(35)

平成27年4月1日～30日

出生	2人	死亡	14人
転入	87人	転出	68人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年4月30日現在

079日

子供と高齢者にやさしい運転で事故をなくしましょう!